ART PROJECT

FUKUOKA × YAME REMIX

武家屋敷と職人の仕事場の痕跡を残す「大名」の町並み。
格子状になった町の随所に「八女」の自然と風土に育まれた茶を配する試み。
それが「八女の大名茶会」です。
大名の一角にある「松楠居」という昭和初期の木造民家を舞台に
いくつもの茶の出来事が展開します。
その出来事を縫うように、網の目になった大名の通りに出現する
小さな「茶事」が人と場をつないでいきます。

Artphoto © Lan Hirano

2017

2.4 sat
/
2.12 sun

さまざまに仕掛けられた茶が織りなす網目。
そのなかで自在に結びつく「茶の交差点」をたどってみる。
ゆったりと八女の茶に興じる大名茶会。

八女の大名茶会

松楠居の茶三昧

2月10日(金)～12日(日)
松楠居

縁側のながれ

2月4日(土)～12日(日)※
エンジョイスペース大名
(※月曜休み)

庭先の照花

2月6日(月)～11日(土)
八女本舗

九州大学ソーシャルアートラボ
TEL & FAX: 092-553-4552
MAIL: sal@design.kyushu-u.ac.jp

FUKUOKA×YAME REMIX 特設ウェブサイト
www.sal.design.kyushu-u.ac.jp/fukuokayameremix

九州大学 KYUSHU UNIVERSITY

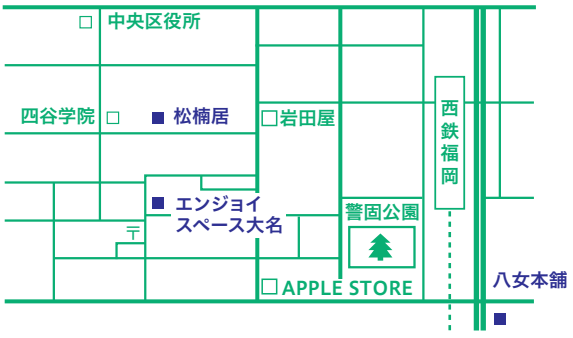
SOCIAL ART LAB FACULTY OF DESIGN KYUSHU UNIVERSITY

ART PROJECT

FUKUOKA × YAME REMIX
八女の大名茶会

九州大学ソーシャルアートラボが平成28年度に実施している、福岡市と八女市をつなぐアートプロジェクト「FUKUOKA × YAME REMIX」。10月に実施したアートバスツアー「里山を編む～天神・奥八女バスの旅～」に続く第二弾の企画では、福岡市中央区大名地区を拠点にしたプロジェクト「八女の大名茶会」を実施します。本企画では、「松楠居の茶三昧」、「縁側のながれ」、「庭先の照花」を通して、大名の格子の上に浮かび上がる八女を感じ、楽しむ如月のひとときをつくり出します。

ダイレクション：藤枝守（総合）、池田美奈子（広報）
ジェームズ・ジャック（「縁側のながれ」企画）
企画特別協力：大田こぞう（LOVE FM「月下虫音」DJ）
企画・制作　：九州大学ソーシャルアートラボ
「地域づくりとアート」実践プログラム受講生
九州大学ホールマネジメントエンジニア（HME）育成プログラム受講生



松楠居

■松楠居
福岡市中央区大名2丁目1－16
■エンジョイスペース大名
福岡市中央区大名1丁目14－20
■八女本舗
福岡市中央区渡辺通5丁目23－8

【チケット情報】

松楠居でのイベントは有料です。（和菓子・八女茶付き）【定員 各回30名】

通しチケット
- 11日（土）3,000円
- 12日（日）5,000円

個別イベントチケット
- ● 1,000円、★ 2,500円、☽ 3,000円

発売日：2017年1月10日（火）
発売所：スリーオクロック（郵送販売）［TEL］092-732-1688
チケットぴあ［TEL］0570-02-9999〔Pコード：634－664〕
※エンジョイスペース大名と八女本舗のイベントは入場無料です。

お問い合わせ：九州大学ソーシャルアートラボ
TEL: 092-553-4552　MAIL: sal@design.kyushu-u.ac.jp

主催：九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボ
共催：公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団
後援：福岡県、福岡市、八女市、日本アートマネジメント学会九州部会
協力：ラブエフエム国際放送株式会社、八女市商工観光課
八女本舗運営協議会、NPO法人山村塾、春々堂
助成：平成28年度 文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」

◇ 松楠居の茶三昧（ダイレクション：藤枝守）

期間：2月10日（金）～12日（日）
会場：松楠居

松楠居を舞台に繰り広げられる茶の三日間。トーク・シリーズ「茶をかたる」やゲーム感覚の「闘茶会」をはじめ、筑前琵琶によるライブ「茶を弾じる」、そして、八女の茶の電位変化に基づく藤枝守の新作「茶の植物文様」がクラヴィコードによって演奏されます。さらに、十六夜（いざよい）にあたる最終日では、月を愛でながらの箏歌「月読の植物文様」に続き、八女の櫨蝋燭（はぜろうそく）のなかで耽美な「十六夜の夜想茶会」が展開します。茶がいざなう「三昧」の世界に、どうぞ、お越しください。

インスタレーション「松楠居を結ぶ」：武内貴子（現代美術家）
空間展示協力：平野蘭（Artphoto）
進行：藤枝守

2月10日（金）プロローグ：茶につどう夕べ

19:00　トーク＋ワークショップ「闘茶会」　●
ゲスト：小森耕太（NPO法人山村塾）原島政司（お茶の千代乃園）

2月11日（土）part I：茶をかたる一日

13:30　茶をかたる（1）「茶の発酵」　●
茶とあそぶ「茶八変化を楽しむ」
上原美奈子（「夢見る茶畑」代表）　ゲスト：原島政司

16:00　茶をかたる（2）「結納茶と水引」　●
長澤宏美（博多水引デザイナー）

18:30　茶を弾じる「筑前琵琶ライブ」　★
寺田蝶美（筑前琵琶）

2月12日（日）part II：月読の夜想茶会

13:30　茶をかたる（3）「万（yorozu）の茶」　●
徳淵卓（万（yorozu）亭主）ゲスト：山口真也（星野製茶園）

16:00　クラヴィコードによる「茶の植物文様」　★
砂原悟（クラヴィコード）

18:30「月読の夜想茶会」　☽
第一部：箏歌ライブ「月読の植物文様」
中川佳代子（箏歌）
第二部：パフォーマンス：「十六夜（いざよい）の夜想茶会」
徳淵卓（茶人）濱田理恵（舞）中川佳代子（箏）
渡辺融（笙）ガムラン倶楽部「ルー」

◇ 縁側のながれ

（ダイレクション：ジェームズ・ジャック、企画特別協力：大田こぞう、
制作：「地域づくりとアート」実践プログラム受講生）

期間：2月4日（土）～12日（日）月曜休み
会場：エンジョイスペース大名

福岡と八女。一見異なる二つの場所ですが、日常を織りなすさまざまなレイヤー（層）に目を向けると、両者のつながりが浮かび上がってきます。「石から砂へ」というメタファーを用いて福岡と八女の間にある時間と空間を想起し、「ながれ」について思いを巡らす参加型展示。二つの場が混在する「縁側」で新しい体験が広がります。

◇ 庭先の照花

（制作：九州大学ホールマネジメントエンジニア（HME）育成プログラム受講生）

期間：2月6日（月）～11日（土）
会場：八女本舗

「八女の再発見」をコンセプトに、電照菊など、八女の隠れた魅力をお伝えします。天神の街中で里山の空気を感じられる展示を行います。